

第7章 関連文化財群の保存・活用

1. 関連文化財群の考え方

関連文化財群とは、指定・未指定に関わらず多種多様な有形・無形の文化財を、歴史文化に基づく関連性、テーマ、ストーリーによって一定のまとまりとして捉えたものです。群を構成する複数の文化財を総合的・一体的に保存・活用するための枠組みで、まとまりを持って扱うことで、未指定文化財についても構成要素としての価値付けが可能となります。関連文化財群として結びつけることで文化財の多面的な価値・魅力を明確にすることができます。

今回の計画では、第3章で述べた5つの歴史文化の特性に基づき、以下の3つの関連文化財群をまとめました。これらは本市の歴史文化の特性の中でも島田市らしさが表れており、日本の歴史文化にも深く関わっています。関連文化財群に位置付けることにより保存・活用を重点的に進めていくことで、本市の文化財や歴史文化の理解が促進され、将来像の実現に近づくと考えます。

表 7-1 関連文化財群とストーリーの概要

No.	関連文化財群	歴史文化の特性（P44）
1	駿河と遠江の狭間で揺れた覇権 ― 島田市の城が語る戦国の物語 東海道と大井川が交わるこの地域は、駿河・遠江を巡って数々の激しい戦闘が繰り広げられました。諏訪原城跡をはじめ、市内に点在する城跡は、戦国時代の戦いの様子や、戦国大名による覇権争いの歴史を静かに物語っています。	(1) (2)



写真 7-1 諏訪原城ビジターセンター



写真 7-2 諏訪原城跡 丸馬出

No.	関連文化財群	歴史文化の特性 (P44)
2	川越しの鼓動、宿場の賑わい ― 渡渉制により育まれた島田宿・金谷宿の繁栄	(1) (3) (5)
	大井川兩岸の島田宿・金谷宿周辺は、東海道を行き交う旅人との交流によって発展を遂げました。島田宿大井川川越遺跡や東海道石畳（菊川坂）が当時の東海道の面影を残すとともに、島田髷、島田帯祭りの大名行列など豊かな歴史文化が今も息づいています。	



写真 7-3 東海道石畳（菊川坂）



写真 7-4 島田髷まつり



写真 7-5 島田宿大井川川越遺跡
（川会所）

No.	関連文化財群	歴史文化の特性 (P44)
3	牧之原台地の恵みと挑戦 ― 世界に愛される島田のお茶	(1) (3) (4)
	国内屈指のお茶の生産量を誇る本市は、お茶とともに長い歴史を歩んできました。志戸呂焼や蒸し製煎茶の導入、幕末の海外輸出、明治維新期の牧之原開拓など、島田のお茶をめぐる多彩な人間ドラマが語り継がれています。	



写真 7-6 金谷茶まつり



写真 7-7 輸出茶ラベル



写真 7-8 牧之原台地の茶畑

2. 3つの関連文化財群

ここでは3つの関連文化財群のストーリーとそれらを物語る個別の構成文化財を示しながら、課題とそれに対する方針・事業を述べます。

関連文化財群1 駿河と遠江の狭間で揺れた覇権 — 島田市の城が語る戦国の物語

(1) ストーリー

戦国時代後半、今川氏は、氏親、氏輝、義元が駿河・遠江両国守護に任じられ全盛期を築き上げました。ところが、義元が桶狭間の戦いで戦死し嫡男の氏真が跡を継ぐと、甲斐の武田信玄が駿河へ、三河の徳川家康が遠江へと侵攻しました。氏真が駿河を追われると、駿河・遠江の国境を区切る大井川は、武田・徳川両氏がしのぎを削る舞台となりました。東西に横断する東海道の大井川の渡河地点を押さえるために、武田信玄の息子勝頼はいち早く牧之原台地上に諏訪原城を築き、遠江侵攻の拠点としました。しかし、長篠合戦後、諏訪原城奪取に成功した家康は、大改修を加え、牧野城と名を改めます。この地を掌握した家康は、ここに前駿河守護の今川氏真を旗印として置き、駿河侵攻の最前線としました。この大井川流域には、戦国大名であった今川・武田・徳川に関わる城跡や美術工芸品、伝説などが残っています。



写真 7-9 石上城跡



写真 7-10 野田（大津）城跡



写真 7-11 諏訪原城跡（薬医門）

(2) 構成文化財一覧

No.	名称	類型	指定等	No.	名称	類型	指定等
1	石上城跡	記念物 (遺跡)	市指定	6	諏訪原城跡	記念物 (遺跡)	国指定
2	槍 銘助宗（伝石上 菟角之助所有）	有形文化財 美術工芸品 (工芸品)	未指定	7	東海道	記念物 (遺跡)	未指定
3	野田（大津）城跡	記念物 (遺跡)	未指定	8	諏訪原城跡出土遺物	有形文化財 美術工芸品 (考古資料)	未指定
4	諏訪原城絵図	有形文化財 美術工芸品 (絵画)	未指定	9	信福寺廃寺石塔	有形文化財 美術工芸品 (考古資料)	未指定
5	今川氏真和歌	有形文化財 美術工芸品 (書跡・典籍)	未指定				



図 7-1 関連文化財群 1 位置図

(3) 課題・方針と事業

【課題】

- ・石上城跡や野田（大津）城跡の遺構の範囲や価値、評価等が明らかになっていません。
- ・石上城跡や野田（大津）城跡の個別の保存方針を決めて、適切な保存措置を講じる必要があります。
- ・石上城跡や野田（大津）城跡の保存活動への市民参加が不十分です。
- ・社会情勢や周辺環境の変化に対応するため、新たな諏訪原城跡保存活用計画を作成し、保存・活用と整備に取り組む必要があります。
- ・関連文化財群とそのストーリーを市民に周知するとともに学習機会の提供が必要です。
- ・諏訪原城跡の認知度が不足しています。
- ・大井川流域の市町との連携体制が不十分です。

【方針】

- ・石上城跡や野田（大津）城跡などの詳細調査を実施して価値評価を行い、保存・活用に必要な情報収集を行います。
- ・石上城跡や野田（大津）城跡の詳細調査で収集した情報をもとに保存方針を作成し、保存に繋がります。
- ・石上城跡や野田（大津）城跡の保存・活用の活動に市民が参加する機会を増やします。
- ・諏訪原城跡保存活用計画を作成し、計画に基づいた保存・活用と整備を進めます。
- ・関連文化財群のストーリーを周知するため、情報発信を行うとともに、講演会や展示等の学習機会を提供します。
- ・諏訪原城跡を活用して認知度を上げます。
- ・関係する大井川流域の市町との連携体制を強化します。

【事業】

【事業】							実施年度						
No	事業名/内容	新規 継続	財源	事業主体		計画期間（令和/年度）							
				民間	行政	8	9	10	11	12	13~17		
①	文化財詳細調査事業 石上城跡や野田（大津）城跡などの文化財の詳細調査を行います。	新規	市費	市民 団体 専門家	博物館課								
②	文化財保存事業 関係者と協議して文化財の保存方針を検討し、保存措置を講じます。	新規	市費	市民 団体	博物館課								
③	文化財市民協働事業（保存・活用） 文化財所有者や自治会、民間団体、企業、行政が協働で文化財の保存・活用に取り組みます。	継続	市費	市民 団体	博物館課 市民協働課								
④	諏訪原城跡保存活用整備事業 関連文化財群のストーリーを踏まえた保存活用計画を作成し、計画に基づいた保存・活用と整備を行います。	継続	国費 県費 市費	専門家	博物館課								
⑤	文化財情報発信事業 文化財の案内板、パンフレット、ホームページ、SNS 等による城跡に関連する文化財の情報発信を行います。	継続	市費	市民 団体	博物館課								

No	事業名/内容	新規 継続	財源	事業主体		計画期間（令和/年度）					
				民間	行政	8	9	10	11	12	13~17
⑥	文化財講演会事業 関連文化財群のストーリーの周知を図るため、講演会等を開催します。	継続	市費	市民 団体	博物館課						
⑦	文化財展示公開事業 諏訪原城ビジターセンターや島田市博物館の企画展のほか市内展示施設等で関連文化財群の紹介展示を行います。	継続	市費	市民 団体 専門家	博物館課						
⑧	諏訪原城プロモーション事業 諏訪原城跡の価値や魅力を知ってもらうため、講演会や体験イベントを実施するほか、各種イベントに出展します。	継続	市費	市民 団体 専門家	博物館課						
⑨	近隣市町等との連携体制の整備 しずおか遺産で連携する静岡市や焼津市、藤枝市のほか、大井川流域の城跡のある川根本町や吉田町と連携を図ります。	継続	県費 市費	—	博物館課						

重点事業

（重点事業）

諏訪原城跡は築城当時の遺構が良好に残る城跡で、平成 16（2004）年からは発掘調査を実施し、平成 25（2013）年から堀や城門、園路、ガイダンス施設等の史跡整備を行ってきました。本市の歴史文化の特徴を示す重要な遺跡で、その保存・活用に係る事業は特に重点事業に位置づけて取り組みます。

関連文化財群2 川越しの鼓動、宿場の賑わい ― 渡渉制により育まれた島田宿・金谷宿の繁栄

(1) ストーリー

江戸時代、架橋・渡船が認められず、川越人足に担がれて渡ることを余儀なくされた大井川は、「東海道一の難所」として全国に知られましたが、旅人を悩ませたのは、大井川の川越しだけではありませんでした。大井川右岸の牧之原台地と小夜の中山の峠は、急な坂道が連続する街道でもありました。また、左岸の島田宿は東海道7番目の規模の宿場で、江戸時代の女性の髪形である島田髷発祥の地として知られています。美しい女性と街の賑わいは先を急ぐ旅人を悩ませました。島田帯祭り的大名行列や豪華な衣装を纏った子供たちが踊る島田鹿島踊などは旅人と地元の人々の交流によって育まれました。こうした大井川兩岸の東海道を行く旅人を、街道沿いの大井神社や秋葉神社の祠が、現在も優しく見守っています。



写真 7-12 島田宿大井川川越遺跡

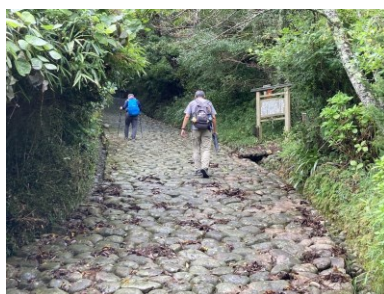


写真 7-13 旧東海道と石畳（金谷坂）



写真 7-14 小饅頭

(2) 構成文化財一覧

No.	名称	類型	指定等	No.	名称	類型	指定等
1	中納言宗行卿詩碑	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定	7	秋葉神社	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	未指定
2	日野俊基歌碑	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定	8	日本左衛門の首塚	記念物 (遺跡)	未指定
3	東海道石畳（菊川坂）	記念物 (遺跡)	県指定	9	大井川	記念物 (名勝地)	未指定
4	芭蕉句碑「馬に寝て残夢月遠し茶の烟」	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定	10	芭蕉句碑「五月雨の空吹き下ろせ大井川」	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定
5	旧東海道と石畳（金谷坂）	記念物 (遺跡)	市指定	11	東海道・川越しの浮世絵	有形文化財 美術工芸品 (絵画)	未指定
6	芭蕉句碑「道のべの木槿は馬に食われけり」	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定	12	朝顔の松	記念物 (動物・植物)	未指定

No.	名称	類型	指定等	No.	名称	類型	指定等
13	島田宿大井川川越遺跡	記念物 (遺跡)	国指定	17	宗長庵趾	記念物 (遺跡)	市指定
14	大井川連台越しの道具	民俗文化財 (有形の民俗文化財)	市指定	18	島田髷と島田髷まつり	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	未指定
15	大井神社	記念物 (遺跡)	未指定	19	島田鹿島踊	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	県指定
16	小饅頭	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	未指定	20	島田帯祭りの大名行列	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	県指定



図 7-2 関連文化財群 2 位置図

(3) 課題・方針と事業

【課 題】

- ・ 東海道石畳（菊川坂）などは個別の保存方針を決めて、適切な保存措置を講じる必要があります。
- ・ 東海道石畳（菊川坂）などは保存活動への市民参加が不十分です。
- ・ 島田宿大井川川越遺跡保存活用計画を作成し、保存・活用と整備に取り組む必要があります。
- ・ 島田宿大井川川越遺跡の認知度を上げるとともに、関連文化財群とそのストーリーの周知を図る必要があります。
- ・ 街道が続く隣接市との連携による来訪者の誘致が不足しています。

【方 針】

- ・ 詳細調査で収集した情報をもとに保存方針を作成し、保存に繋がります。
- ・ 東海道石畳（菊川坂）などの保存・活用の活動に市民が参加する機会を増やします。
- ・ 島田宿大井川川越遺跡保存活用計画を作成して、遺跡の保存・活用と整備を進めます。
- ・ 関連文化財群とそのストーリーを周知するため、情報発信を行うとともに、講演会や展示等の学習機会を提供します。
- ・ 島田宿大井川川越遺跡の活用を促進して、価値や魅力を効果的に伝えて認知度を上げます。
- ・ 東海道を隣接する藤枝市や掛川市との連携を強化し、関連する文化財に訪れる見学者を増やします。

【事 業】

No.	事業名/内容	新規 継続	財源	事業主体		計画期間（令和/年度）					
				民間	行政	8	9	10	11	12	13~17
①	文化財保存事業 関係者と協議して文化財の保存方針を検討し、保存措置を講じます。	継続	市費	市民 団体	博物館課						
②	市民協働推進事業（保存・活用） 文化財所有者や自治会、企業、行政が協働で文化財の保存・活用に取り組めます。	継続	市費	市民 団体	博物館課 市民協働課						
③	島田宿大井川川越遺跡保存活用整備事業 関連文化財群のストーリーを踏まえた保存活用計画を作成し、計画に基づいた保存・活用と整備を行います。	継続	国費 県費 市費	専門家	博物館課						
④	文化財情報発信事業 文化財の案内板、パンフレット、ホームページ、SNS 等による東海道来関する文化財の情報発信を行います。	継続	市費	市民 団体	博物館課						
⑤	文化財講演会事業 関連文化財群のストーリーの周知を図るため、講演会等を開催します。	継続	市費	市民 団体	博物館課						

No.	事業名/内容	新規 継続	財源	事業主体		計画期間（令和/年度）					
				民間	行政	8	9	10	11	12	13~17
⑥	文化財展示公開事業 島田市博物館常設・企画展ほか市内 展示施設等で関連文化財群の紹介展 示を行います。	継続	市費	市民 団体 専門家	博物館課 社会教育課						
⑦	川越し街道賑わい創出事業 和菓子イベントなど川越遺跡の活用 を促進して、価値や魅力を知っても らい、遺跡の周知を図ります。	継続	市費	市民 団体	博物館課						
⑧	近隣市町等との連携体制の整備 藤枝市や掛川市と連携体制を整え、 東海道に関連する文化財への見学者 の増加に取り組みます。	新規	市費	—	博物館課						

重点事業

（重点事業）

島田宿大井川川越遺跡は、江戸時代の川越しを物語る遺跡として、平成24（2012）年から史跡購入をはじめ、現在、建物の移築復元等の史跡整備を進めています。本市の歴史文化の特徴である東海道の重要な遺跡であるため、その保存・活用に係る事業は特に重点事業に位置づけて取り組みます。

関連文化財群3 牧之原台地の恵みと挑戦 ―世界に愛される島田のお茶

(1) ストーリー

この地域にいつごろお茶が伝わったか分かっていませんが、戦国時代に築かれた窯跡からは志戸呂焼の天目茶碗や茶入が見つかり、お茶文化が伝わっていたことが確認できます。また、島田宿出身の連歌師宗長は15世紀後半に一休宗純や村田珠光の子宗珠といった著名な茶人とも交流しています。安土桃山時代に平地が少ない大井川上流で換金作物のお茶の栽培が盛んになり、お茶は主食の米の購入や年貢金などに用いられました。さらに江戸時代には東海道を旅した松尾芭蕉が島田・金谷でお茶の句を詠むなど、すでに茶どころとして知られていました。そして、蒸し製煎茶の製法導入や横浜の外国茶商への販売にいち早く取り組むなど静岡県内でも先進茶産地となりました。明治維新後は失業した川越人足や静岡に移住した旧幕臣が牧之原台地を開拓し、全国屈指の茶産地に発展しました。



写真 7-15 志戸呂焼



写真 7-16 二俣公会堂



写真 7-17 蓬萊橋

(2) 構成文化財一覧

No.	名称	類型	指定等	No.	名称	類型	指定等
1	二俣公会堂	有形文化財 建造物	未指定	10	牧之原開墾地の絵図 面と土族名簿	有形文化財 美術工芸品 (書跡・典籍)	市指定
2	製茶元祖坂本藤吉頌 徳碑	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定	11	輸出用茶箱・輸出茶 ラベル	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定
3	上志戸呂古窯	記念物 (遺跡)	県指定	12	芭蕉句碑「駿河路や 花橋も茶の匂い」	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定
4	芭蕉句碑「馬に寝て 残夢月遠し茶の烟」	有形文化財 美術工芸品 (歴史資料)	未指定	13	勝海舟像	有形文化財 美術工芸品 (彫刻)	未指定
5	仲田源蔵像	有形文化財 美術工芸品 (彫刻)	未指定	14	蓬萊橋	記念物 (名勝地)	未指定
6	茶祖栄西禅師像	有形文化財 美術工芸品 (彫刻)	未指定	15	中條金之助景昭之像	有形文化財 美術工芸品 (彫刻)	未指定
7	手もみ製茶関係器具 類	民俗文化財 (有形の民俗 文化財)	県指定	16	おせん女踊り	民俗文化財 (無形の民俗 文化財)	未指定
8	金谷茶まつり	民俗文化財 (無形の民俗 文化財)	未指定	17	手揉み製茶	無形文化財	国登録
9	志戸呂焼	有形文化財 美術工芸品 (工芸品)	未指定	18	手揉製茶技術	民俗文化財 (無形の民俗 文化財)	県指定

No.	名称	類型	指定等	No.	名称	類型	指定等
19	静岡の茶草場農法	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	未指定	20	らっか煮 (大井川の茶請け食文化)	民俗文化財 (無形の民俗文化財)	未指定



図 7-3 関連文化財群 3 位置図

(3) 課題・方針と事業

【課 題】

- ・川根地区を中心にお茶に関する文化財の把握調査が不足しています。また、関連文化財群のストーリーだけでなく補足情報の整備を図る必要があります。
- ・お茶に関連する文化財の個別の保存方針を定めて、適切な保存措置を講じる必要があります。
- ・お茶に関連する文化財の保存・活用の取組みが不十分です。
- ・関連文化財群とそのストーリーを周知する必要があります。
- ・関連文化財群の保存・活用を促進するための関係機関・団体との連携が不足しています。

【方 針】

- ・川根地区を中心にお茶に関する文化財の把握調査を行うとともに、関連文化財群の充実を図るため、詳細調査を行います。
- ・詳細調査で収集した情報をもとに保存方針を作成し、保存措置を図ります。
- ・お茶に関連する文化財を市民が認識する機会を増やし、保存・活用に繋がります。
- ・関連文化財群のストーリーを周知するため、情報発信を行うとともに、講演会や展示等の学習機会を提供します。
- ・ふじのくに茶の都ミュージアムや島田市茶業振興協会、島田市茶手揉保存会等と連携します。

【事 業】

No.	事業名/内容	新規 継続	財源	事業主体		計画期間（令和/年度）					
				民間	行政	8	9	10	11	12	13~17
①	文化財把握調査事業 川根地区の自治会や茶業関係者等と協力して、お茶に関する文化財の把握調査を行います。	新規	市費	市民 団体 専門家	博物館課 農業振興課 市民協働課						
②	文化財詳細調査事業 文化財の詳細調査を行って関連文化財群のストーリーの充実を図ります。	新規	市費	市民 団体 専門家	博物館課						
③	文化財保存事業 関係者と協議して文化財の保存方針を検討し、保存措置を講じます。	新規	市費	市民 団体	博物館課 農業振興課						
④	市民協働推進事業（保存・活用） 自治会、企業、行政が協働でお茶に関連する文化財の保存・活用に取り組めます。	新規	市費	市民 団体	博物館課 農業振興課						
⑤	文化財情報発信事業 文化財の案内板、パンフレット、ホームページ、SNS 等によるお茶に関連する文化財の情報発信を行います。	新規	市費	市民 団体	博物館課 農業振興課 広報プロモーション課						

第7章 関連文化財群の保存・活用

No.	事業名/内容	新規 継続	財源	事業主体		計画期間（令和/年度）					
				民間	行政	8	9	10	11	12	13~17
⑥	文化財講演会・体験学習事業 島田市のお茶の歴史文化や文化財の周知を図るための講座・体験学習・イベント等を行います。	新規	市費	市民 団体	博物館課 農業振興課						
⑦	文化財展示公開事業 島田市博物館ほか市内の展示が可能な施設での関連文化財群の展示紹介を行います。	新規	市費	団体	博物館課 社会教育課						
⑧	関係機関・団体との連携 ふじのくに茶の都ミュージアムや島田市茶業振興協会、島田市茶手揉保存会等と連携して事業を行います。	新規	市費	団体 専門家	博物館課 農業振興課						